

「太平山麓九条の会」だより



事務局：須黒法律会計事務所 〒328-0027 栃木市今泉町 2-4-18 FAX0282-22-3757
電話連絡先 0282-22-7079(増田)
Eメール oohirasanroku9jo@yahoo.co.jp HP：太平山麓九条の会で検索

182号
2022年 8月25日発行

8月=戦争と平和について考える月

二度と戦争を起こさないために！！

8月になると、新聞やテレビで戦争に関する記事や番組を取り上げますが、最近問題にされていることは戦争体験をどう後世に伝えていくかという問題です。体験者の高齢化や死亡により、直接体験を聞く機会が少なくなっています。この傾向はますます大きくなっていくでしょう。戦争の実態をリアルに知ること。それがなぜ重要か、それは、そのことが戦争を起こさないための抑止力のひとつになるからです。

今、為政者や官僚の多くが戦争を知らない世代にとって代わっています。そのためか、ウクライナ戦争を機に9条を持つ国にもかかわらず、平気で日本の武装化を論ずる声が大きくなっています。体験者の声を聴く機会が少なくなる中、私たちは番組や本などいろいろな手段を使って戦争や平和について考える機会を作っていくことが大切と思います。また、体験者から聞いた話を次の世代に話していくことも大切なことと思っています。

読んでみてください！

谷川俊太郎さんの絵本「へいわとせんそう」



へいわのボク	せんそうのボク
へいわのワタシ	せんそうのワタシ
へいわのチチ	せんそうのチチ
へいわのハハ	せんそうのハハ
へいわのかぞく	せんそうのかぞく
へいわのどうぐ	せんそうのどうぐ
へいわのぎょうれつ	せんそうのぎょうれつ
へいわのき	せんそうのき
へいわのうみ	せんそうのうみ
へいわのまち	せんそうのまち
へいわのよる	せんそうのよる
へいわのくも	せんそうのくも
みかたのかお	てきのかお
みかたのあさ	てきのあさ
みかたのあかちゃん	てきのあかちゃん

絵本の全文を載せてみました。

この絵本との出会いは、数か月前TV番組で谷川俊太郎さんの「戦争体験を語る」を見たときでした。

世界情勢がだんだん暗くなる中、ロシアのウクライナ侵攻が激しさを増す中で、一日も早く戦争をやめさせたい、そして、世界中の子ども達に戦争の恐ろしさを伝えたい。詩や絵本作家である谷川さんはこの絵本を紹介しました。

絵本はモノトーンイラスト風で、平和と戦争の違いを人間の表情、環境、生活空間を単純に描いていますが、その違いが表情から伝わってきます。そして後半の文「みかたのかお」「てきのかお」から「みかたのあかちゃん」「てきのあかちゃん」までは前半と違って、どちらも同じ顔や環境を描き平和を表現しています。人間として生まれ育ち、戦争によって変えられていくことを感じ取れました。

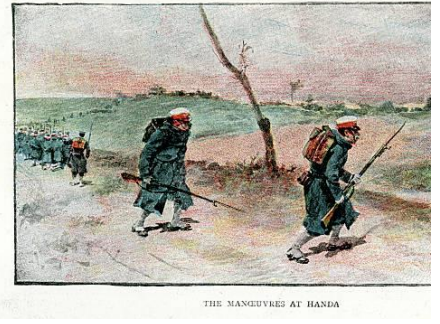
私の孫娘(小2)も読書感想文に、後半の絵に気づき「平和がいいね」と言っていました。この絵本を通して「考えさせる」ことの大切さを感じられました。ぜひ一読してみてください。(白沢 記)



新たに知ったビルマ戦場の悲惨さ

高際 澄雄 記

父は昭和15年3月召集を受け、昭和17年3月ビルマ(現ミャンマー)のラングーン(現ヤンゴン)に入り、泰緬鉄道建設に従事しました。父は事務を担当していたので、比較的安全だったようですが、空襲を受けたり、宿舎で銃撃を受けて怖かったと言っていました。悪名高いインパール作戦が失敗し、昭和20年4月父の部隊はタイのバンコクに撤退、そこで敗戦となり、抑留されて昭和21年11月帰国しました。私は父から戦争体験を聞いていたので、2度と戦争を起こすべきではないと、事あるごとに主張してきました。



ところが最近 NHK スペシャル「ビルマ 絶望の戦場」を見て、私が考えていたよりはるかに悲惨で問題のあることが分かりました。私の理解はインパール作戦から退却する兵士が飢餓でばたばた倒れ、白骨街道と呼ばれる惨状を呈した、ということだけでした。しかし NHK スペシャルによると、実際はもっと悲惨で問題がありました。

まずイラワジ川で英国軍を迎え撃つ作戦が立てられ、もともと兵隊数も武器でも劣っている日本軍が勝てるわけがありません。しかしビルマ方面参謀本部はラングーンへの英国軍の進軍を少しでも遅くするためこの作戦を立てたと、後の田中新一参謀長は英国軍の取り調べに答えています。下級兵士の命など平気で無視できた旧日本軍上層部の考えがよく表れています。

さらに驚いたのは、ラングーンには芸者を置いた宴会場があって、高級将校はそこに入り浸っていたという事実です。それを見た下級兵士は高級将校の振る舞いに涙を流していたと、宴会場の板前が証言しています。

ラングーンには日綿の支店がありました。その支店の従業員にラングーンを守るため兵士となるように命令が出て、165人の従業員のうち65人が死亡し、支店長は生涯そのことを悔やんでいたと伝えています。

日本の敗戦近くになっても、まだ3万6000人がシッダン川近くの森に身を潜めていました。そのためシッダン川を渡らねばならず、多くの人が英国軍に殺されました。8月15日以降に命を落とした兵士は1万9000人に上ったと番組は伝えています。

私には父の戦争体験だけでも戦争反対を主張するに十分だと思っていますが、もっと深く事実を掘ることで、戦争の実態が見えてくると思います。

七月の九条だよりを
読んで

七月のたよりは、一面にまた沖繩が戦場になるのではないかという沖繩県民の心配を書きましたが、二面は外交の仕事をされてきた孫崎さんが「日本の安全は軍事力では確保できない」と強調しています。外交の力で粘り強く対話するしか平和を作ることはできないと思います。幸いアジアには ASEAN という力強い仲間がいます。中国の強大な軍事力と、ミャンマーの凶暴な軍事政権と、辛抱強く対話しようとしていません。日本も軍事増強を止め仲間にと考えていたら、七才の徳元穂菜さんが大人を論じていました。「おかあさんは二人の話聞いてくれた。そして仲なおりが、それがへいわなのかな」

(G・T記)

お知らせ

★「夏想う ピースピース」 8月28日(日)13時30分から

キョクトウ 蔵の街楽習館 大交流室 (詳細はチラシをご覧ください)

★スタンディング

9月9日(金) 市役所前 9月19日(月) カワチ・イオン前 両日とも16時から30分間

★スタッフ会議

9月9日(金)・9月22日(木)=4階・10月6日(木)・10月21日(金)・11月10日(木)

場所 キョクトウとちぎ楽習館2階市民活動室 13時30分～

